

大隅地区教育課題 (◎: 最重点課題, ○: 重点課題) を振り返って～次年度に向けて～

◎ 確かな学力の定着

- 授業改善の推進（「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり、振り返りや演習問題の取組の充実）
- 「学ぶ姿勢」育成
- 学力向上に関する校内PDCAサイクルの確立
- 学力向上に関する学校訪問

◎ 不登校の改善

- すべての児童生徒を対象とした未然防止
- 早期発見・早期対応
- 中1ギャップの未然防止策

◎ 体力・運動能力の向上

- 授業改善の推進（指導と評価の一体化が図られた楽しい授業づくり、運動時間の確保）（各学校の基本となる一単位時間の学習過程の作成）
- 「体力アップ！チャレンジかごしま」の積極的推進

○ 地域・家庭の教育力の向上

- 家庭教育学級・PTA活動の充実
- 「守ります！9時オフ。」の実践
- 青少年育成の日（毎月第3土曜日）を中心とした地域活動への積極的な参加

令和2年度鹿児島学習定着度調査結果（2月3日現在の速報値）

		国語	社会	算・数	理科	英語
小5	県	75.0	75.5	69.4	74.9	
	地区	73.8	74.4	68.6	73.3	
	差	-1.2(-1.1)	-1.1(-0.2)	-0.8(+0.3)	-1.6(-0.5)	
中1	県	78.7	64.4	74.9	70.4	68.1
	地区	76.9	61.2	73.8	68.5	65.6
	差	-1.8(-0.7)	-3.2(-3.7)	-1.1(-2.0)	-1.9(-3.6)	-2.6(-3.2)
中2	県	76.7	67.7	67.1	70.9	57.8
	地区	76.5	64.0	63.5	70.0	54.5
	差	-0.2(-1.2)	-3.7(-1.8)	-3.6(-2.5)	-0.9(-3.2)	-3.3(-4.1)

※ () は、昨年度の県平均との差

昨年度に比べ、中学校で、地区と県の平均通過率の差が縮まった教科が増えている。小学校では、全ての教科で県平均との差が広がった。

児童生徒から「わかった」「できた」の声が増えてきた！
復習を！

不登校の状況【令和2年度月例報告(1月末)】

	R1	R2
小学校	51人(0.40%)	51人(0.42%)
中学校	181人(2.99%)	188人(3.17%)

コロナ禍の影響で、不安を感じている児童生徒への丁寧な実態把握と迅速な対応が、求められる。

本年度、若干増加している。構成的グループエンカウンター等による「絆づくり」「心の居場所づくり」の充実が必要である。また、SC、SSW等と連携を図り、迅速な支援体制の確立も必要である。

令和2年度 鹿児島県児童生徒体力・運動能力調査結果から

		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回)	20mシャトルラン(秒)	50m走(秒)	立ち幅跳び(cm)	ボール投げ(m)
小5	男	○ 16.80 16.39	▼ 17.98 19.07	▼ 32.15 32.78	○ 40.88 40.78	▼ 44.94 47.35	○ 9.42 9.56	○ 151.55 148.64	▼ 20.99 22.56
	女	○ 16.19 16.09	▼ 17.31 18.11	○ 36.57 36.55	▼ 37.39 38.51	○ 40.81 38.25	○ 9.48 9.81	○ 146.01 143.43	○ 14.63 14.39
中2	男	▼ 28.01 28.34	▼ 24.66 25.69	○ 42.55 42.27	▼ 48.77 50.36	○ 79.68 78.94	▼ 8.27 8.09	▼ 191.12 192.34	○ 21.33 21.08
	女	○ 22.89 22.78	▼ 20.29 21.42	▼ 43.79 44.18	▼ 44.17 45.77	▼ 50.62 53.40	▼ 9.11 9.01	▼ 161.79 165.39	▼ 12.66 12.72

※ 各学年の上段が大隅地区（抽出校）の平均値、下段が県（抽出校全件）の平均値

※ 県平均値より高い：○、県平均値より低い：▼

本年度、握力と長座体前屈において改善傾向が見られた。各学校の実態に応じて、毎時の教科授業で運動時間を確保し、継続した取組が必要である。

令和2年度鹿児島学力定着度調査結果（質問紙）

調査項目	校種	地区 (%)	地区目標 (%)
家庭で、インターネットを利用した遊びを1日当たり2時間以上している。(平日)	小5	15.4	20%以下
	中1	24.0	30%以下
	中2	29.4	

成値を地区の目標として達成

令和2年度インターネット利用等に関する調査

調査項目	校種	地区 (%)	地区目標 (%)
インターネット利用に関する家庭内ルールを設定している。	小	80.1	100%

この家庭内ルールは、来年度は、100%達成を目指す

特別支援教育の充実に向けて

学校間の連携の充実

特別な支援を必要とする幼児児童生徒が就学、進学後も充実した学校生活を送ることができるようにするために、学校間において確実に引継ぎを行い、切れ目なく支援を受けられるようにすることが大切です。

移行支援シートや個別の教育支援計画等を活用しながら、学校間の連携の充実を図りましょう。

※ 移行支援シートや個別の教育支援計画を引継ぎ資料として用いる場合、保護者の了承を得ることが原則

学校間の連携を充実させるポイント

- 引継に係る保護者への理解・啓発を計画的に行う。
- 引継ぎについては、可能な限り入学までに行う。
- 個別の教育支援計画、移行支援シート及び学校(園)で作成した資料の引継ぎを確実にを行う。
- 保護者の意向等により個別の教育支援計画や移行支援シートの作成が難しい場合、個別の指導計画を指導の記録として確実に引継ぎを行う。
- 引継を受けた学校は、教職員の共通理解を確実にを行い、支援内容・方法などについて検討し、指導及び支援の充実を図る。

「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業 (R3~12)

- **運動への意欲・実践力の育成【学校】**
… 教科体育の充実、家庭や地域との連携など
- **運動の日常化【家庭】**
… 外遊びの奨励、「家族でスポーツ」の実践など
- **運動機会の設定【地域】**
… 体育的行事の推進、総合型地域スポーツクラブ等での取組など

新規事業



生涯にわたって主体的に心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現することができる児童生徒を育成します。

大崎町立大丸小学校

令和3年1月19日(火)に研究公開を実施しました。児童の「主体的・対話的で深い学び」を促すために、算数科を中心とした授業改善や学習の基盤づくり、家庭学習の充実を図る研究を深めてきました。「授業改善」では一人調べや学び合いにおける視点を児童・教師双方で明確にし、構造的な板書やノート、学び合いの素地づくり、聞き方や伝え方を高める取組等、共通実践しました。家庭学習では、児童の発達の段階を考慮した目標や手引きを作成し、家庭と連携して見届けも徹底しました。「家庭学習」=「宿題」+「自学」+「読書」と設定し、児童の学習への意欲が高まる実践を行うことができました。



【5年生の授業の様子】

志布志市立有明小学校

令和3年2月3日(水)に研究公開を実施しました。学ぶ「楽しさ」を実感できる子供の育成を目指し、ユニバーサルデザインの視点から「授業改善」「環境整備」を中心に、児童の特性や「困り感」に対応した指導法の工夫について研究を深めてきました。

「授業改善」については、児童の実態を各種調査等から把握し、「焦点化・視覚化・共有化」の視点で算数科の学習過程を見直し、学び合いの中で個に応じた成長を促す「伝え合いタイム」の設定や、自分の学びを振り返る時間の確保など、主体的・対話的な学びを促す実践を重ねることができました。



【算数キャラクターかずへん】

地区研究協力校

フレッシュ研修 研究授業研修(特別活動) ~「主体的・対話的で深い学び」の実現へ~

1月27日(水)、志布志小学校と志布志中学校で、フレッシュ研修を実施しました。研究授業及び授業研究を通して、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題をどのように解決させていくかを、熱心に協議していました。さらに、両校校長先生から体験談を交えた講話もしていただき、充実した研修になりました。

「子供たちの可能性を信じ、共に成長していける教師でありたい。」という感想がとても印象的でした。



【授業研究の様子】

文部科学大臣表彰 おめでとうございます

全日本学校関係緑化コンクール特選表彰	肝付町立岸良小中学校
「地域学校協同活動」推進に係る表彰	志布志市立蓬原小学校運営協議会
第73回優良公民館表彰	鹿屋市花岡地区公民館
優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る表彰	志布志市PTA連絡協議会

鹿児島県表彰 おめでとうございます

へき地・小規模校教育優秀校	垂水市立新城小学校
学校保健優良校	鹿屋市立大始良小学校
学校体育安全優良校	曾於市立末吉中学校
学校給食優良場	曾於市財部学校給食センター